

日 誌 (昭和41年3月)

【国 内】

- 1日 ○農林中央金庫、系統利用奨励金の再引下げを実施(前月号要録参照)
- 5日 ○国鉄料金引上げ
- 14日 ○外国為替銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利を引上げ(要録参照)
- 19日 ○日本、韓国オープン勘定廃止(2月号要録参照)
- 24日 ○外国為替銀行、米ドル建現地貸金利を引上げ

(要録参照)

- 東京証券業協会、公社債、電々債の気配交換相場の発表を開始(従来の公社債引受協会による発表は、17日までで廃止)
- 第1回目ソ経済合同委員会開催(海外要録参照)

【海 外】

- 1日 ○香港、預金金利協定を改定
- ソ連、自動惑星間ステーション「金星3号」初めて金星に到着(打上げは昨年11月16日)
- 東ドイツ、国連加盟を申請
- 4日 ○ブンデスバンク売オペレート引上げ(6ヵ月物以上、各 $\frac{1}{8}$ %)
- 9日 ○IMF、米国に対し90万米ドル相当のカナダ・ドル引出しを承認した旨発表
- 10日 ○米主要銀行、プライム・レートを5%から5.5%へ引上げ
- 11日 ○スカルノ・インドネシア大統領、危機収拾の権限をスハルト陸相に委譲
- 韓国銀行、通貨安定証券の発行を決定
- 14日 ○カナダ銀行、公定歩合を4.75%から5.25%へ引上げ
- 15日 ○ジョンソン米大統領、48億ドルのベトナム戦費追加支出権限法案に署名
- ジョンソン米大統領、総額60億ドルの増税および徴税促進法案に署名
- 16日 ○ジョンソン米大統領、アジア開発銀行法案に署名

○西ドイツ政府、中共向け鉄鋼プラントの輸出を承認

- 21日 ○台湾、国民党大会で次期総統に蒋介石現総統を選出

- 22日 ○エカフェ第22回総会、ニューデリーで開催(4月4日まで)

○韓国に対するIMFスタンバイ・クレジット増額(9.3百万ドル→12百万ドル)

○中共、ソ連共産党大会への出席招待を拒否

- 24日 ○GATT第23回総会、ジュネーブにて開催(4月6日まで)

- 26日 ○ソ連、党中央委員会総会を開催

○劉少奇中共国家主席、パキスタンを訪問

- 27日 ○ガンジー・インド首相、訪米

○インドネシア、内閣を改造(スハルト陸相は第5副首相に就任)

- 29日 ○シャープ・カナダ蔵相、1967年度予算を議会に提出

○ソ連、第23回党大会を開催

- 31日 ○英国、総選挙実施(労働党、野党を97議席リードする圧勝)